

「UNIVERGE」の導入効果を自ら実証 ブロードバンドオフィスが企業に革命をもたらす

IPテレフォニーの導入価値を、単なるコスト削減から「コミュニケーション革命」と高めよう。NECは、「UNIVERGE」の導入効果を自社の活用で証明。さらに、実践で得たノウハウを生かし、ソリューションのさらなる強化に取り組んでいる。

企業は今、知的生産性の向上やワークスタイルの変革による競争力強化を大命題としている。これらを実現するには、企業内・企業間でいかに円滑なコミュニケーションを行えるかが重要なポイントの1つとなる。

NECが提供する「UNIVERGEソリューション」は、ITとネットワークを統合し、コスト削減効果で注目を浴びるIPテレフォニー技術の上に、企業の「コミュニケーション革命」という新たな価値を提供する。

同ソリューションでは、企業個々の要望にきめ細かく迅速・確実に対応する「SI構築スイート」に加え、中堅・中小企業や部門・拠点での導入に向けて、ハード・ソフト製品からシステム構築・保守までをオールインワンで提供する「ソリューションパック」、導入規模に応じてシステム構成を容易にカスタマイズできる「ソリューションモデル(らくモデル)」を用意している。

今年6月に発表されたラインナップでは、オフィスコラボレーション分野の「IPテレフォニーパック」「ユニファイドコミュニケーションパック」、オフィスセキュリティに関する「セキュアワイヤレスLANらくモデル」「ウイルス検疫VLANらくモデル」、CRM向けの「IPコンタクトセンターパック」の計6種類のメニューを揃えた。これらは、同社がすでに個別の商談で導入実績をあげてきたソリューションを体系化したもの。そして、自らのオフィスでも利用価値を検証し、中身を磨き上げたものでもある。

導入後半年で明確な効果

今年1月、東京・品川にオープンした「NECブロードバンドソリューションセンター」。自社オフィスとショールームを兼ねる同センターが、UNIVERGEソリューションの「実践の場」だ。

ショールームでは、ブロードバンド&コ

ピキタソリューションを実体験でき、展示内容は3カ月ごとにリニューアルされている。オープンから半年で約7600名もの来場者を迎えたことから、ユーザー企業の注目度の高さが分かる。

一方、ブロードバンド環境を整えたオフィスフロアでは、同社の営業/SE450名が働いている。

フロア内は社員数の6割分の座席を設けたフリーデスク制を採用、ノートPCと無線LANでどの席からでも社内ネットワークを利用できる。残る4割の社員も、セキュアなアクセス環境によりオフィス外でスムーズに業務を遂行できる。また、ドキュメントの電子化の徹底により、ペーパーレス化を積極推進。社内ミーティングでは、会議室に設置したプラズマディスプレイパネルやWeb会議システムの活用により、資料データを共有化している。

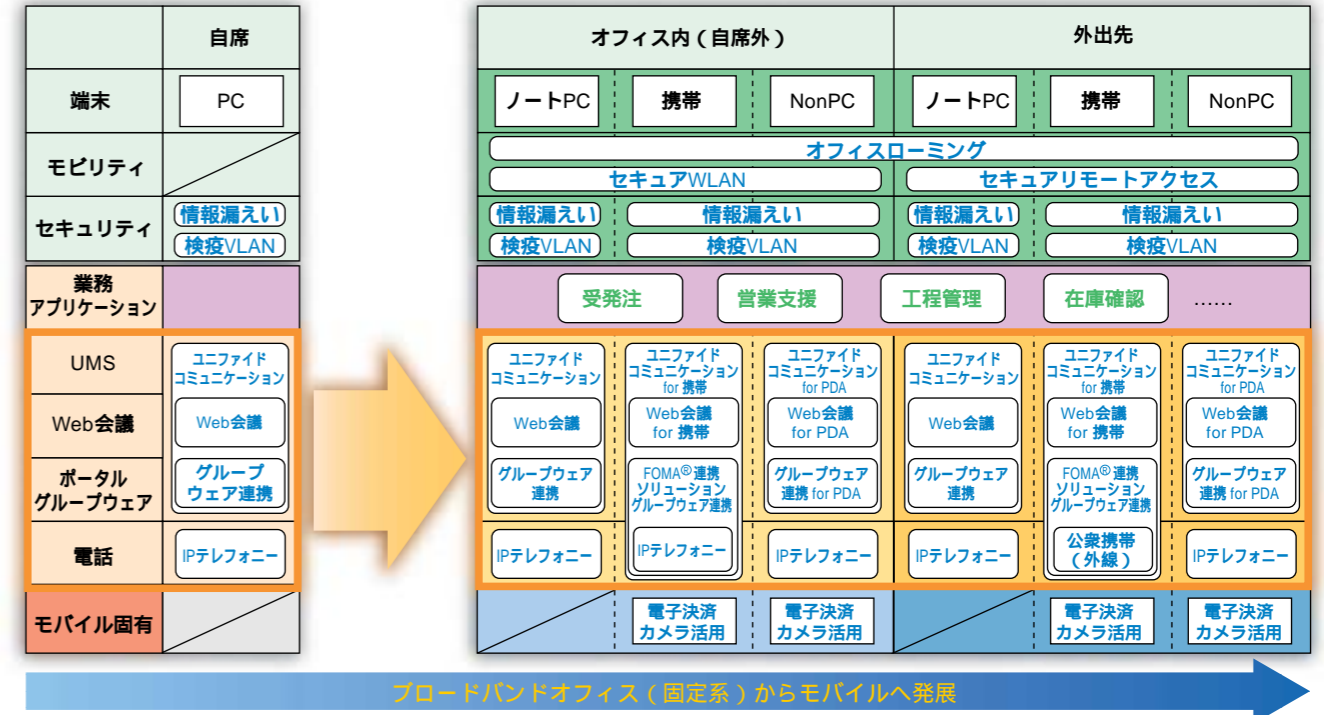
新オフィスの効果は定量的な数値にも表れている。センターへの移転前と2004年6月度の比較では、国内の通話料(内線/外線)が約85%減、コピーやプリンターの印刷枚数は約66%減、会議/外出関連の交通費約55%減を実現。さらに、電話の取次ぎや無駄な発信に要する時間が約77%減、リモートアクセス利用で外出先からの帰社回数が半減といった、単純なコストでは表せない効果も出ている。



品川イーストワンタワー内に開設された「NECブロードバンドソリューションセンター」。左がショールーム、右はオフィススペース。オープンから半年で約7600名が来場した



図 UNIVERGE モバイルソリューション体系



加えて、個々の社員が日常の業務を通して、システムの新しい使い方や、よりよい環境作りに意欲的に取り組んでいる。当然ながら、それらはユーザー向けソリューションにも生かされることになる。UNIVERGEソリューションには、性能や機能だけではなく付加価値が盛り込まれていくわけだ。

モバイル領域へメニュー拡大

IT・ネットワーク統合によるビジネスの効率化を考えると、モバイル環境を欠かすことはできない。そこでNECは9月2日、UNIVERGEソリューションに「モバイル」の κατηγοリーを追加した。

「UNIVERGEモバイルソリューション」は、ノートPC、携帯電話、PDAをはじめとするNonPC端末を活用し、オフィス内や外出先のどこでも、自席にいる時と同

じ業務を行える“どこでもマイオフィス”を実現する。

具体的なメニューとしては、NTTドコモのFOMA®/無線LANデュアル端末と、IPテレフォニーサーバー「UNIVERGE SV7000」、無線LANシステム「WLシリーズ」などを組み合わせた「UNIVERGE FOMA®連携ソリューション」が第一弾となる。今後、携帯電話やPDA向けのグループウェア、企業情報ポータル、ユニファイドメッセージ機能や、出張先の支社・支店やホテルからでも社内システムを安全に利用できるローミング機能を生かした「ソリューションパック」らくモデル」の品揃えを進める。

もちろんNECでは、モバイル領域に限らず、ワークスタイルのさらなる改革を実現する多種多様なアプリケーションを提供する考え。

この点においては、「UNIVERGEパートナープログラム」に基づく外部企業のアプリケーション開発に大きな期待がかかる。そして、新たなアプリケーションの検証やシステム構築時の技術支援などを手がけるサポート役として、NECでは70名体制の「UNIVERGEサポートセンター」を設置している。

UNIVERGEソリューションは、先進性だけではなく、信頼性、拡張性という面でも安心して導入できるソリューションといえる。そして、IT・ネットワーク統合を目指す企業にとって、NECが「ベストパートナー」になることは間違いなさそう。

お問い合わせ先

NEC
企業第二ソリューション事業部
TEL: 03-6405-0390
Eメール: univerge-sales@nws.jp.nec.com
URL: http://www.sw.nec.co.jp/univerge/